

# 北海道のモノづくり、空へ

## 産学官で勉強会

的に勉強会などを開き、情報収集する予定だ。参加には品質管理規格の認証取得が必須で、中小企業にはハードルが高い。ただ長期で仕事を確保できる可能性があるため、挑戦する価値はある。

(札幌支局長・村山茂樹)

北海道で産学官が連携し、航空機産業への参入を目指す活動が動きだしている。産学官で構成する「北海道航空ビジネス検討会」は9月末、室蘭市で専門家を招いて第1回の勉強会を開催した。航空ビジネスへの足がかりをつかむため、今後も定期

「各企業がビジネスに結びつけることを目的に、企業間の情報交換や将来的には共同受注を担える組織として立ち上げた」。北海道航空ビジネス検討会の事務局を担当する北海道機械工業会の斎藤知行専務理事は勉強会の開催に先立ち、同検討会の趣旨を説明した。同検討会は道内のモノづくり企業や北海道

## 航空機産業参入 共同受注に意欲

経済産業局、北海道、室蘭市、北海道大学や室蘭工業大学などが参画して7月26日に発足した。参加企業は14社だったが、勉強会の際には20社に増えるなど関心が高まっている。

### 認証取得が関門

だが、航空ビジネスの参入には大きな壁が立ちほだかる。その一が航空機の品質管理規格の認証取得だ。勉強会で講師を務めたI



北海道航空ビジネス検討会の第1回勉強会

業向けに品質管理規格の認証取得や、航空機部品の製造プロセス改善を支援する事業を実施する。

HIのOB、大村秀樹氏は「JISQ9100」を最低限持ってないと参入できない」と説明する。認証取得にはコストや手間がかかり人員が割かれる。認証取得が即仕事につながるわけではない。どこから仕事を受注できるかわからない段階でお金や人をかけるのは厳し」と本音を明かす。地元の中小企業に仕事が出てくる可能性がある。室蘭市はこうした北海道のモノづくり力の向上にもつながる。

### 室蘭生産追い風

とはいえ、まったく動きを踏まえ、市内企

当会が事務局を担っている「北海道航空ビジネス検討会」の第1回勉強会に関する記事が、平成30年10月25日(木)付の、日刊工業新聞に紹介されま